



認定NPO法人 Future Code

2023年度 活動報告書



Haiti

○2024年3月時点○

中米ハイチにある Caradeux と Scyllo にある孤児院に支援しております。

治安の悪化から、支援団体の撤退が相次ぎ、国際社会からの支援は激減しております。

○支援報告○

2023年6月

孤児院に2ヶ月分の食糧支援を行いました。ここでは47名の子どもが暮らしています。マフィアが地域を占拠したためマーケットも閉鎖。同じく支援を行っていた地域のキリスト教会も閉鎖されてしまい、支援が届かない状況が続いています。

この施設が受け入れねばならない子どもは多くいますが、食糧だけではなく日用品もベッドの数も足りず、彼らが生活しているところは、雨が降るだけで屋根が壊れてしまう状態です。

この孤児院は特に難しい状況にあるため注目しながら支援を続けています。



2023年8月

孤児院に食糧支援を実施しました。

日本の皆様からのご支援で、この孤児院の子どもたちの約2ヶ月分の食料を購入することができました！

食糧以外にも石鹸やトイレトペーパーなど日用品も購入しています。少しでも状況が改善するように私たちも努力していきたいと思えます。





前回支援した孤児院に加えて、さらにもう 1 箇所の孤児院に、食糧支援とその他のベッドマットなど必要な物品の支援を実施しました。食糧難が続いておりますが、治安の悪化により多くの支援団体の撤退が起こり、この孤児院では残念ながら、私たち Future Code のみが支援を続けているのが現状です。今回の日本の皆様からのご支援で、この孤児院の子どもたちの約 2 ヶ月分の食糧等を購入することができました。少しでも状況が改善するように私たちも努力し、再び国際的な支援が戻るまで、子どもたちの命を守っていききたいと思います。

2023 年 12 月

年内最後に食糧支援を行いました。この孤児院では約 60 人の子どもたちが暮らしていますが、治安は良くなりませんので食糧危機が続いています。

今回の支援ではこれから 3 ヶ月の食糧の支援となります。この孤児院ではもはや我々の支援のみとなっており、これからも我々は、子どもたちの未来を少しでも支え笑顔を守りたいです。



ハイチ大地震から 12 月 12 日で 14 年が経過しました。今回は昨年から引き続き、2 箇所の施設で合計 67 名の子どもたちが暮らす施設に、約 3 ヶ月分の食糧とともに生活必需品などの支援を行いました。

ハイチでは政情不安定により、多くの支援団体が現場を離れており、現地管理者からも、ぎりぎりの生活が続いていることが報告されています。ぎりぎりの生活が続くことが考えられるだろうか？

少しでも子どもたちの健康に貢献できるよう、引き続き支援を継続してまいります。

2024年3月

ハイチの孤児院で食糧支援を新たに行いました！2箇所、約100名の孤児に対し、3ヶ月分を支援しています。ハイチでは、政情不安により危険な状況が続き、公立病院も閉鎖されている状況にあります。

内戦も懸念される事態であり、子どもが病気になったとしても診療に連れていく事そのものがリスクになってしまうため、子どもたちの健康状態をきっちりと管理していく必要があります。

ほとんどの支援団体が撤退する中、この厳しい状況の中でも、皆様のご支援により、今回の支援が実現できている事を大変嬉しくも思います。



Burkina Faso

2024年3月時点

西アフリカ 幼児院にて教育と食糧支援。農業支援を継続中。

2023年5月

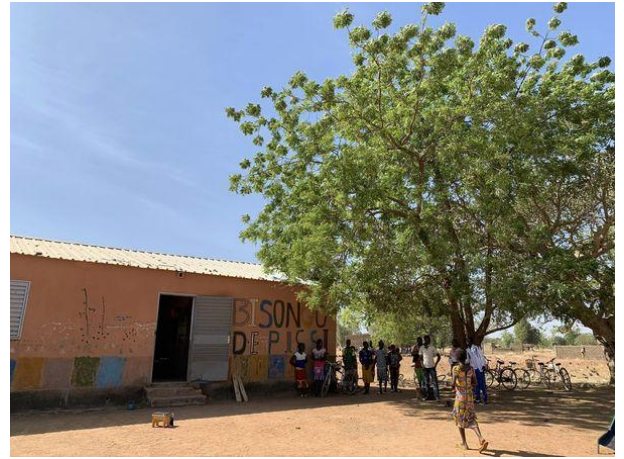


昨年より引き続き幼児院で、子どもたちの衛生教育を含めた教育と、食事の提供による栄養支援は継続されています。

現在の世界混乱により、特に西アフリカでは食糧難が続いております。国内避難民も多数出ています。

子どもたちの栄養失調も多く報告される中ではありますが、できる限り現地での農業を加速させ、健康を守りたいと思います。

幼児院の先生などスタッフの生活も当然ながら厳しく、給与など雇用条件も、この厳しい今だからこそ見直し、何よりも施設を継続して運営できるよう努力しています。



2023年7月

食糧支援の一環として昨年に行った農業ですが、今年も5ヘクタール（東京ドームほどの広さ）の土地から開始しました！ロシア・ウクライナ紛争の長期化、またテロによる避難民の増加により、残念ながら300万人を超える食糧難と飢餓が理不尽にも続いています。しかし昨年もこの農業では、多くの食糧を生み出すことに成功しており、この地域の子供達の給食にも提供されました。今年も住民の女性たちが主に豆類の種を植えています。

困難な状況でも、決して諦めることなく、住民たちと共に進めて参ります。



2023年8月



食糧緊急支援が始まりました！ロシア・ウクライナ紛争や、テロの影響により数百万人規模の食糧難と飢餓が続いています。昨年に引き続き、日本の皆様からのご支援のおかげで、農業プロジェクトと合わせて、この十数トンの主にトウモロコシ等の緊急食糧支援も実施。現地政府の食糧配布プログラムに乗せる形で住民に届けられますので、プロジェクトの進捗を随時報告させていただきます。

アフリカ諸国の人々にとっては、何よりも不条理なこの食糧危機を乗り越える事ができるように、日本からの支援として、できる限り命を守るよう活動を続けます。

緊急食糧支援の配布が実施されました！トウモロコシを中心とした穀類 10 トンの支援を、地域の国内避難民や住人 2000 人を対象として、地域の政府と協力して迅速に配布いたしました。

ロシア・ウクライナ紛争やテロの影響による食糧難で、飢餓の発生が数百万人と多発しており、先日にウクライナの食糧庫の爆破や、黒海の封鎖などが続き、厳しい状況がさらに悪化しています。



しかしこのタイミングで緊急支援を実施できた事の意味は地域にとっては大きく、まさにご支援いただいている日本の支援者の皆様の、人を想うお気持ちで実現できました。現地政府と国内避難民の代表者からも、日本の支援に対する感謝が述べられました。

これからも現地での農業プロジェクトとあわせて、迅速かつ現地が本当に望んでいる支援を続けたいと思います。

2023年9月

食糧難に対して今年も6月から開始となった農業プロジェクトの経過報告です。雨が少なかったにも関わらず、皆の努力もあり、5.5ヘクタール（東京ドーム一回り大きいほど）の農地で、すでに豆類が花を咲かせ実ができてきており、昨年よりもインゲン豆や大豆などの豊作が期待できるところまでできています。もう少しで最初の収穫を行う予定です。





一度の収穫で 3 トンほどの収穫は期待でき、主に地域の学校の子どもたちの給食などにも使用される予定です。
私たちが現地の人々と協力しながら、少しでもこの厳しい環境でも改善できるように努力を続けます。



2023年 11月

飢餓に対する農業プロジェクトですが、今年は幸いにもかなりの豊作となりました！女性たちがこの豊作を祝い、歌いながら踊っている動画を送ってくれました。歌の歌詞には、この農業の機会を作った、日本からの支援に対しての感謝が歌われました。

まず第一弾の収穫のインゲン豆だけでも 2.5 トン以上となり、主にこれから地域の子供たちの給食にあてられます。また、豆を取り出した後の鞘も、家畜の飼料になり、全て無駄なく使われます。

厳しい環境は続きますが、このように現地に小さな希望が生まれていく事は大変嬉しく感じています。

これからもひとつひとつの事業を大切に育て、現地貢献を続けていきたいと思います。日本の皆さまには引き続き、温かなご支援、ご声援をどうかよろしくお願い申し上げます！





開始から6ヵ月経った農業プロジェクトで得た多くの収穫により、地域の学校の165人の子供たちの9ヶ月分の食糧となり、さらに私たちの農地で働くシングルマザー40人の3ヶ月分の食糧として供給されました。

本年は幸運にも非常に多くの農業の収穫があり、効果的な命をつなぐ支援ができた事を、現地のスタッフも私たちも嬉しく思っています。

しかしながら、まだまだ出来ることはここにはあり、そしてこの支援だけでは地域にとって十分なものではないため、これからもできる限りの支援を継続、拡大していきたいと思えます。



Bangladesh

2023年7月

バングラデシュのダッカ県にある農村部(ナワブガンジ郡)にて、学校や孤児院の子供達の無料検診を行っています。この地域にある他の学校からも、「体調不良の子供達がたくさんいるため、検診を行って欲しい。」とのニーズがあったためです。

近くに病院やクリニックもないため、子どもたちの家族や、近隣住民、学校の先生も検診の話を聞きつけて来られ、約40名の検診を行いました。



そして検診で見つかった病気の治療費用のサポートも合わせて行います。

今回の検診で特に目立ったのが、子供達の「栄養不足」です。検診を行ったほぼ全ての子供達が、栄養不足により身体の成長が遅れており、平均よりも身長や体重が低いことが見受けられました。貧困により、肉や魚などは食べることができず、空腹を満たすためご飯を一晩水に浸した冷たいお粥を食べる子供達が多いとのこと。

これから私たちは、タンパク質が多く含まれる卵を、1か月に1回の検診時に無料配布するなど、子供達の栄養状態の評価と共に、栄養支援を始める予定です。



2023年8月



〈 Bangladesh Free Health Check-up and Nutrition Support 〉

私たちは Bangladesh のダッカ県にある農村部の学校や、孤児院、そしてこの地域の住民に対して毎月一度、無料健診を行っています。今回の無料健診に合わせて、前回の健診時に、特に目立った子供達の「栄養不足」を改善するため約 200 名の子供達へ、卵とバナナを無料配布し、栄養支援も開始しています。

Bangladesh では、日本の学校で定期的に行われているような学校健康診断のシステムはなく、子供達の健康は各家庭に任されている現状があります。今回は子供達の健康状態を把握するために、健診を実施した約 50 名のうち、日本の小学・中学にあたる年齢にある 24 名の身長、体重測定を行っており、結果として約半数の子どもは平均よりも有意に低体重となっており、これからも栄養支援を継続

する計画です。

また、この無料検診で、私たちのチームの中心となり、地域の人々に信頼される存在として活躍しているのは、当時、軍病院で看護師育成プロジェクトを行った際に生徒であった医療スタッフであり、私たちもその成長を大変嬉しく感じています。

今後も子供達に対する栄養支援を継続するとともに、この健診を通して、それぞれが自分の健康について考えるきっかけとなるように関わっていきたいと思います。



2023年11月

バングラデシュの首都ダカの郊外の活動地域で、住民への無料検診と健康相談を行いました。この地域では医療機関からも遠く、発熱を始め、体調になんらかの問題があってもなかなか診察や健康相談をできる場所は限られています。

患者の多くは、近くにある薬局での処方に対応できるものの、診察した中には、肺炎である可能性のある高齢者もおり、直ぐに首都の我々の関連病院での精査を手配しています。

これからもより地域の医療にも貢献していけるよう、活動を継続していきたいと思います。



バングラデシュ首都ダカにあるスラムを訪問し、調査を行いました。ここは、コロナ感染蔓延などにより立ち入る事ができず、以前、妊婦さんたちへの調査、支援を行なったときから3年以上が経過しており、また街の開発も進み、スラムでの生活も変化しています。



この地域の産婆さんにも聞き取りを行なっています。この数年で大きな死亡事故はなかったものの、やはり妊婦さんの多くは、ある程度の医療支援を受けたとしても病院に行くだけのお金が十分になく、貧困が大きな障害となっている事には変わりありません。産婆さんからも、出産リスクがある妊婦さんたちへのサポートを充実させて欲しいとの要望がありました。私たちもこれからもできるかぎり、必要に応じて妊婦健診などの提供や、出産サポートも行っていきたいと考えています。



2024年2月



Bangladesh の郊外の街で、住民を対象に診察や処方、アドバイスなどを無償で行うメディカルキャンプを実施しました！

地域の学校の中に設置され、普段なかなか病院に行って相談できない環境での需要は大変高く、終了時間を超えても多くの患者さんたちが訪れ、129人を診察しています。

糖尿病や高血圧などの慢性疾患が多くみられました。



他には、感染症の子どもや、癌の治療についてよく状態が分からず途方に暮れていた人や、治療の決断に迷っている人など、様々な事例がありました。

地域住民からのニーズは高く、今回も大変喜んで頂き、定期的な実施が求められています。

今後はこの地域で私たちへの医療相談ブース併設の薬局の開設なども考えつつ、継続していきたいと思えます。



Japan

○講演会・講義○



2023年4月

名古屋で開催されました国際ロータリー第 2760 地区 地区研修・協議会の基調講演。久々の大きな大会であり、2000 人近くご参加頂く中で行われました。講演では、Future Code の活動の紹介や、また国際奉仕、支援活動に駆り立てる情熱が生まれる、その根底にある経験や、活動を続けていく意味をどう考えているかなど、お話いたしました。

2023年5月

尾道市医師会看護専門学校にて、看護学生の皆様に、同校出身であり、現在バングラデシュ支部マネージャーのラーマン真理子看護師より、国際看護の講義を担当させていただきました。

今後、国際看護は日本でも取り組んで行くべき課題の一つであります。

支援活動においても、また生活においても、人種に関係なく、人間に対して何が出来るかを考えていくと言った大切な部分は共通していることが多いということを伝えています。



県立川西明峰高等学校にて、ESD（持続可能な開発のための教育）をテーマに講演を行いました。

途上国の現場で感じてきた事や、現在世界で起こっている問題などについて話しました。その他にも、私たちが考えるSDGs の意味や、考え方についても言及しています。この高校では、トルコ・シリア震災に対して募金活動を行うなど、支援に対する理解を深める教育なども実施されておりました。

2023年6月

兵庫医科大学にて講義をいたしました。この日本でも近年、国際保健という分野は医療者にとって重要になってきており、医学生にとっても途上国の事情を含めた世界での医療を知ることには意義があります。活動の内容を具体例に、公衆衛生のプログラムを含め、医師としての現場での役割などを解説しています。医学生の皆さんが将来に医師となり、仕事をしていく中で、少しでも参考になるような時間であり、このような途上国支援の仕事にも興味を持ってもらえたならば幸いです。



2023年9月

京都大学にて第115回 ACCP 日本部会定期教育講演会の、特別セミナーに登壇しました。この講演会の参加者の方々は全員医師という学会の舞台であり、日本の医師としては、元呼吸器外科医という立場からの途上国支援への転身という異色の経歴を話しました。普段の日本の医療とは全く異なるであろう私たちの途上国での活動に「心を揺さぶられた」というコメントも頂きました。興味を持って聞いてくださった方も多かったようで、この機会に改めて感謝しています。

私たちが改めて日本の国際医療支援団体として、これからも実直に医療支援活動を続けていきたいと思っております。

2023年10月

青森県の八戸市開催されました、ロータリー第2830地区大会の記念講演にて登壇しました。これまでの活動の紹介や、またこれからの支援のビジョンや、活動を続ける意味、想いなども合わせての講演となりました。講演後にも大変大きな反響をいただき、紹介させていただいたハダニシア ハンドクリームが1日の売り上げ最高本数となり、感謝申し上げます！これからも皆様と力をあわせ、より効果的な日本の支援を世界で体現していきたいと思っております。



2023年11月

有馬温泉 向陽閣にて、WIS株式会社さま主催の「一夜を共にする会 合宿」に講演として登壇させていただきました。活動の初期である9年前にも講演をさせていただいたご縁です。講演内容としても、この時間の中に、私たちが活動してきた内容から、WISの皆様を含め、人との出会いや、人生の選択についてなども話しました。120人のご参加いただいた皆様からも、講演後に大変な反響を頂きました。感謝申し上げます。



2024年3月

東京の日比谷松本楼にて、国際女性デー「Woman's Meeting」が国際ロータリー第2580地区女性セミナーとして開催され、登壇いたしました。

今回の講演では、私たちが実施する世界のプロジェクトの中で、活躍する女性たちにフォーカスを当てて解説しました。特にブルキナファソでは如何に女性がシアバター製造を通して経済を作っているか、バングラデシュでの女性看護師たちのリーダーシップで創り上げる医療の未来などについても語りました。



Future Code もスタッフは女性がほとんどです。

これからもより、女性が活躍できる社会を創っていくことを皆様と共に目指して参ります。これからも現地の女性たちの雇用を守り、理不尽な貧困を撲滅するために努力を続けます。



東京講演の次の日、沖縄で開催されました国際女性デーのイベント「誰もが輝く社会を目指し、沖縄のために何ができるか」に登壇しました。このイベントでは、沖縄という場所から、世界へ貢献することがテーマとして語られました。そこでは、女性の力によって力強く支えられる私たちの国際協力の姿があり、これからの医療の未来についても言及しています。会場も満席の状況の中、大変大きな反響を頂き、ありがとうございました！日本人の持つ文化も合わせて、日本だけでなく途上国の現実の中でも、より良い社会の実現に向けて、私たちも努力を続けたいと思います。



山形で開催されました、全国ローターアクト研究会の基調講演に登壇いたしました。この研修会では、全国から若い世代の方々が400名を大きく超えて来場いただきました。今回は活動紹介だけではなく、途上国でどのように支援を含む事業を創ってきたのか、仕事の仕組みや創り方、その考え方についても解説。

大変感銘を受けた講演内容だった、学びがあり来てよかった、というような感想も多く頂きました。これからも日本の若い世代の方々にとっても魅力的に感じる仕事を創りあげ、世界に貢献を続けていけるよう、努力を重ねたいと思います。



○メディア紹介○

2023年7月

神戸の雑誌「THE TANPENS」7月号に Future Code の活動を掲載いただきました！

より多くの方に、活動を知っていただければ嬉しく思います。掲載に向けて執筆、編集などしていただいた関係者の皆様にも感謝申し上げます。

2023年11月

兵庫医科大学の広報誌「兵医広報」の特集企画 OUR CREW に4名の卒業生が選出され、その中の1人として代表の大類の記事を掲載していただきました。

途上国の現場を育てることで、医療を根付かせるという活動の理念や、また医療以外にも留まらず、農業から商品開発による雇用創出、貧困の削減などにも貢献する私たちのこれまでの活動が語られています。



12月17日

産経新聞「ひょうごの宝」のコーナーで代表の大類が取材を受け、掲載いただきました！今回の記事では、なぜ大類が途上国支援活動をするに至ったのか、Future Code が創設された理由なども、大変分かりやすく書いていただきました。これからも私たち Future Code は世界に貢献する日本の支援を、しっかりと現地に届けてまいります。

○1年を通して○

ドラゴンゲート プロレスリング上より、途上国支援活動の結果報告と共に、活動を支えてくださったご来場の皆様、ドラゴンゲートの選手や関係者の皆様にご挨拶をさせていただきました。

試合会場では、毎回温かな皆様からの募金や、ハダニシア ハンドクリームのご購入により、本当に食糧難に苦しむ何万人もの多くの人々に支援を届けることができ、また農業支援プロジェクトでもたくさんの作物を育て、現地の子どものための学校給食に貢献することができました。

ブルキナファソの現地からも「日本人、ありがとう！」の言葉を預かっておりました。改めて皆様には心より感謝申し上げます！

私たちは、まだまだ来年も多くの積み残された難題に挑戦し、少しでも多くの命を支えたいと思います。これからも温かなご支援、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします！

(年末の挨拶より)



2023 年度 Future Code BYCS(学生部の活動)

私たちは主に、西アフリカのブルキナファソ国で作られたシアバターを原材料にした「[hadanishea\(ハダニシア\)](#)ハンドクリーム」を 2019 年より販売しています。現地の工場で製造しているシアバターを使用することで、現地ブルキナファソへの雇用創出、ハンドクリームを販売することで、現地への公衆衛生改善、医療支援・食糧支援費としての還元など、Future Code の活動につながる Future Code の商品です。

皆さまのご支援があり、hadanishea は 2024 年 3 月に販売開始から 5 周年を迎えることができました。5 周年の節目を迎えるにあたり、今年度は新たに取材や絵本作りに取り組み、活動の範囲を広げています。その他、学生部 BYCS では、イベントでの取り組み紹介や、メンバー間の議論などを通し、国際社会で生きる人材育成の場を作っています。

(写真：ミーティングの様子)



(写真：学生が運営を行う hadanishea ハンドクリーム)



・イベントへの参加

以下、2023年度にBYCSとして参加したイベントです。一人一人にとって有意義な経験となるよう、イベントの目的や雰囲気に合わせて目標をメンバーで議論した後設定し、参加しています。



【AMA World Fes】(2023/10/22)

関西学院大学のゼミ主催の「SDGsの推進と地方創生の実現」を目的としたイベントで、阪神尼崎駅前広場で開催されました。前述した2つの目的では、地方創生により特化したイメージであったため、来場者の多くは、比較的価格帯の低い飲食ブースを中心に周っていましたが、同じくSDGsに取り組む学生団体の大学生からは注目を集め、お互いの活動を説明しあい、学生同士の交流を深めることができました。

(写真：尼崎駅前にて販売する様子)

【歳末感謝祭】(2023/12/16)



お取り扱い店舗の一つである、カフェウインザー様からお声がけいただき、出店をすることになりました。屋外での販売を行いました。当日は気温が低く、風も強かったため途中から屋内での販売へと変更しました。対象店舗にて、設定金額以上のお買い物をすると、ガラポンをすることができる形式のイベントでした。絶えず多くのお客様がイベント会場に来られていましたが、ほとんどの人がくじ引きを目的に来ていたため、アプローチの仕方が難しく感じられました。hadanisheaハンドクリームのお取り扱いをしてくださっている方が主催したイベントであったため、関係性を維持するという点では、よりご縁を深められるイベントとなりました。

(写真：hadanisheaを取り扱ってくださっているカフェウインザー様の店前で販売する様子)

【ワンフェスユース】(2023/12/17)

毎年参加しているOne World Festivalの一環で、より学生の活動に焦点を当てたイベントに参加しました。国際協力・SDGs推進に関わるNGO、学生サークルが参加しており、国際協力に携わりたいという同じ志を持った学生が多かったことから、普段よりも詳しく活動を紹介したり、他団体の紹介を聞いて多く学んだりできる、充実した機会となりました。

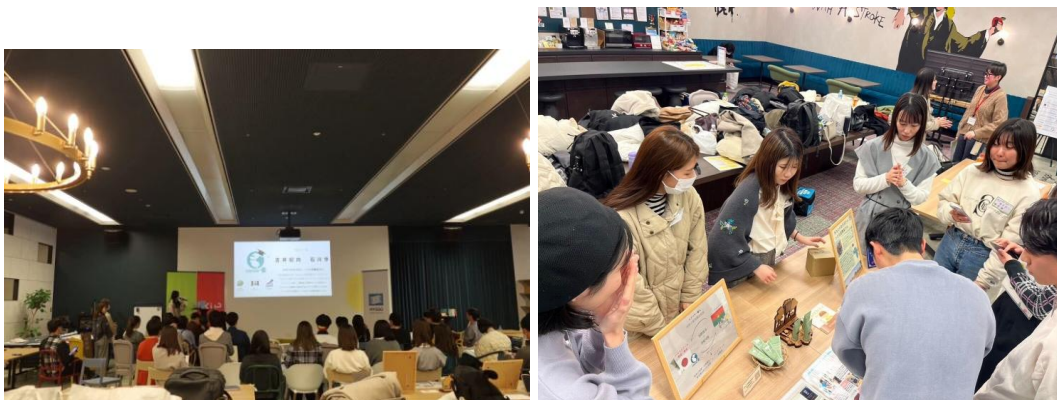
(写真：高校生に対して活動説明を行う様子)



【Visions Lab 様主催 関西こころざしアワード】(2024/3/3)

Visions Lab に所属し、神戸市外国語大学学生である岡崎様からご依頼をいただき、「関西こころざしアワード」に参加しました。このイベントは、関西を拠点に活動する学生団体と互いに活動紹介・交流し、学生団体同士の輪を作り広げることを目的として行われました。

イベントでは、活動紹介のほかにブース出展もプログラムの中に組み込まれており、そこでは普段のイベントの設営をした上で、hadanishea ハンドクリームのお試し会を行いました。多くの学生団体メンバー・参加者にハンドクリームをお試しいただきました。Instagram のフォローも行っていただきました。(本イベントにて、BYCS のInstagram アカウントのフォロワーが 26 人・hadanishea の Instagram アカウントにて 11 人のフォロワーを獲得すること、ができました。) 中には、イベント開催後、実際に EC サイトにて商品を購入してくださった方もいらっしゃいました。若者への認知度が大きく向上できたイベントでした。



(写真:左から活動紹介の様子・hadanishea 体験会の様子)

【ユニセフのつどい】(2024/3/2)

Future Code の依頼より、コープ神戸生活文化センターにて開催された、ユニセフのつどいに参加しました。イベントでは、ユニセフ東京事務所に務めておられる方の講演会や、FutureCode の活動紹介・ネパールダンス体験などのプログラムが組み込まれていました。BYCS メンバーとして、国際協力や海外の文化に触れることができ、知識をより深めることができました。ブースを訪れて下さるお客様として、hadanishea を既に知っておられて、リピート購入する方が非常に多く感じられました。売り上げは 17 本、コープ職員の方をはじめ、出展者の方々に多く購入していただきました。「昨年のユニセフのつどいの際から hadanishea ハンドクリームを使いつづけている」とのお声もいただき、イベントに継続して出店し、つながりを維持することの大切さも感じることができました。



(写真:左から、ネパールダンス体験の様子・hadanishea 販売の様子・講演会の様子)

・広報活動

【SNS 活動】

昨年度に引き続き、Instagram、Facebook、Twitter、公式 LINE の合計 4 つの媒体を用いて広報活動を行いました。今年度は文字を入れた画像や動画の投稿を増やし、より多くの人目に留まり、hadanishea の魅力や BYCS の活動が伝わるように努めました。リール投稿も月に一回することを心掛け、フォローしてくださっている方以外にも hadanishea の存在を知って頂くきっかけとしていました。また、BYCS のアカウントでは主に活動について、hadanishea のアカウントでは主に商品について宣伝するなど各媒体の特色を活かして宣伝しました。用いたアカウントとその内容等は以下の通りです。

- Instagram ○ hadanishea アカウント
 - [hadanisheainstagram](#)
- BYCS アカウント
 - [BYCSInstagram](#)
- Facebook
 - BYCS アカウント
 - [BYCSFacebook](#)
- Twitter ○ hadanishea アカウント
 - [hadanisheatwitter](#)
- BYCS アカウント
 - [BYCSTwitter](#)
- 公式 LINE ○ hadanishea アカウント



・店舗営業関連

今年度は、新たに 1 件の店舗、アフリカ布とスパイスのバオバブ様と委託契約を結ぶことができました。互いにアフリカに関連した商品を販売しており、私たちの活動に共感して下さった上で、契約を締結してくださりました。

また、今年度は新たな販売形式にも取り組みました。アサンテプロジェクト大阪に所属されている中山様からお声がけいただき、大阪大学を拠点に活動しているアサンテプロジェクト大阪様とのコラボ企画を行いました。企画として、神戸市外国語大学の文化祭・大阪大学の文化祭にて、互いの団体の商品の販売を行いました。アサンテプロジェクト大阪様の販売商品として、カレンダー

とアフリカ布で作られたヘアアクセサリを取り扱いました。どちらも文化祭にて多くの売り上げを出すことができ、団体と商品の認知度の向上に大きく貢献することができました。

(写真：アフリカ布とスパイスのバオバブ様店舗にて hadanishea が販売されている様子)



(写真：外大祭にて行った、アサンテプロジェクト大阪様の商品コラボ販売)



・その他の活動

渡航が可能となったことに合わせて、11月には Future Code の支援国の一つ、バングラデシュへメンバーを1人派遣し、現地の状況を直接知る機会をいただきました。その他、取材やキャラクター作成などユニークな企画にも取り組んでいます。

【バングラデシュ渡航】(2023/11/166~19)

11月には Future Code のバングラデシュ渡航へ同行し、現地への理解を深めるとともに国際協力の有り方を考えさせられました。現地では、病院建設に関するミーティングや農村部の方への診察等が行われました。特に診察に関して、体調不良の際は薬局で対処し病院に行くことはほぼないという現状を知りました。さらに、食育の一環として羊を一から捌く様子を見学したり、スラム街に住まれている方から直接お話を伺ったりする機会もありました。その中で病院での出産はコストがかなりかかるという現状があり、改めて支援の必要性を感じました。約4日間の渡航でしたが、普段できない活動を通し、正しい知識を得て継続した支援を行うことの重要性を実感しました。



(写真：診察を行っている様子や産婆さんのお話を伺っている場面)

【取材】

BYCS の活動について興味を持っていただき、今年度は何件か取材をしていただく機会をいただきました。SDGs に取り組む企業や団体・個人を紹介されている MIRASUS 様、J:COM 様、「エシカル」をテーマに生活に役立つ情報を提供していらっしゃる HAKOBU LIVING 様、学生の海外留学・国際協力活動の促進に取り組まれている Mahal KitaQ 様、神戸市須磨区・西区・垂水区の地域情報誌ビバニュータウン様に取り上げていただいています。ネット記事のものは以下にリンクを載せていますので、ぜひご覧ください。

MIRASUS 「一人ひとりの手元から国際協力に貢献！ハンドクリーム「hadanishea」をご紹介します！」

2023年3月2日掲載

<https://mirasus.jp/case/9099>

J:COM チャンネル・J:テレ「SDG s 神戸市外国語大学の取り組み～兵庫県神戸市～」2023年10月4日掲載
<https://www.youtube.com/watch?v=KvbHnxSer7g>

HAKOBU LIVING 「【PR】ブルキナファソの人々の暮らしを支援、ハンドクリーム hadanishea (ハダニシア)」
2023年6月17日掲載
<https://hakobuliving.com/press/hadanishea.html>

Mahal KitaQ 「学生団体インタビュー第二弾！」2023年10月20日掲載
<https://note.com/mahalkitaq/n/n64cea964c57d>

【ハダニシベアー】

昨年、限定ラッピングをデザインしてくださったインフルエンサー・神戸人様とのコラボ企画とし

て、hadanishea 公式キャラクターである「ハダニシベアー」のステッカー制作を開始しました。制作のきっかけとなったのは、ドラゴンゲート様の試合です。神戸人様をドラゴンゲートの試合にご招待した際、「hadanishea が試合会場でもっと親しみを持ってもらえるよう、手助けができれば」とハダニシベアーをデザインいただき、BYCSの活動を応援してくださいました。そのキャラクターを今後も活かしていきたいとステッカーを作成しています。本ステッカーは、ドラゴンゲート様の試合において限定販売する予定です、現在3種類のデザインが上がっています。



(イラスト：神戸人様がデザインしてくださった「ハダニシベアー」)



【絵本作成】

広報部メンバーの発案により、絵本「ブルキナファソって知ってる？」の作成が行われました。対面イベントの際に幼い子どもがブースを訪れることも少なくはなく、ブルキナファソについて簡単に知ってもらえるツールを作りたいという考えからこの案が発案されました。対象は主に子どもとしているが、大人への説明にも適宜使用することができると考えています。イベントの際には持っていく新しいアイテムとして活用しています。

(イラスト「ブルキナファソって知ってる？」表紙)

【対面販売実践会】

昨年度に引き続き活動についての知識・理解を深めるための取り組みとして、また新メンバーの販売の予行練習として対面販売実践会を行いました。

複数の今まで参加させていただいた実際のイベントを想定して接客する側とお客様側に分かれる実践練習を行いました。お客様からの視点を知ることで、よりわかりやすく私たちの活動を知っていただくための説明の方法を学ぶことができました。

(対面販売実践会の様子→)



【学生提案制度】

神戸市外国語大学の企画、学生提案制度にて最優秀賞を頂き実行することとなりました。企画案名は「不要な参考書・教科書のリユース」で、神戸市外国語大学の学生から不要な参考書と教科書を集め、それを必要な人へと無料で配布するという案である。参考書は主に高校生へ、教科書は外大の後輩へというターゲットの設定を行いました。

2023年の外大祭にて、BYCSブースの前にブースを設置し、配布を行いました。学生のみならず街の方などにも興味を示していただき、ブースは盛況となりました。その流れから、BYCSのブースへ誘導することもでき、hadashiaハンドクリームとは別の活動からも、BYCSの認知度を向上させることができました。



外大祭にて、学生提案制度のブースを出している様子

【5周年アニバーサリー】

BYCSが販売・運営に関わっている hadanishea ハンドクリームが2024年3月14日で5周年を迎えたことを祝い、BYCSのOB・OGの方々をお招きしたオンラインでの交流会・5周年記念感謝セールを行いました。

〈交流会(2024/3/29)〉

交流会では、先輩方がBYCSに所属されていた時の活動における想いや、現役メンバーが抱えている悩みや疑問を共有し、アドバイスいただきました。この他にも、現役生とOB・OGたちとの仲を深めるためのフリートークも行いました。年齢関係なく楽しくコミュニケーションを取ることができ、団体としての上下のつながりをしっかりと創り出すことができました。(写真：交流会の様子OB・OGのみなさんと)



〈5周年記念感謝セール(2024/3/14~21)〉

5周年記念感謝セールでは、通常 1,320 円で販売している hadanishea を、ネットショップからの購入かつ 1 週間限定で、1 本 1,000 円で販売しました。これまで活動に携わってくださった方や購入・支援してくださった方へ感謝の意を表すことが目的であり、今一度、hadanishea の良さを感じていただいて、今後の hadanishea の継続的な販売、支援への還元に繋げることを目指していました。キャンペーンの実施に先立って SNS での広報に力を入れたことから、リピーター様に加えて、はじめて購入される方も多くいらっしゃり、この機会に hadanishea を試していただけたのではないかと考えています。冬が終わり、ハンドクリームとしては売上が落ち込む時期に入りつつあったものの、3 月度の売上は前年比 12 倍を越え、大盛況のイベントとなりました。

【SDGs 月間プレゼンテーション】(2023/10/4)

神戸市外国語大学にて開催された「SDGs 月間」におけるディスカッションイベント「グローバル社会の中のチャレンジと課題」にて、「学生が取り組む持続可能な国際協力」と題し、講演を行いました。学内での一般参加可能なイベントは少ないため、学生だけでなく教授や事務員、市民の方に向けて講演をできたことは貴重な経験となりました。講演後は質問や感想を受け付け、活動に対する自身の知識を見直し、客観的な意見を聞くことができました。



(写真：神戸市外国語大学にて発表を行う様子)

